

京田辺市上下水道事業経営審議会(第7回)議事録要旨

日時：令和7年7月8日（火）午後1時30分～午後2時00分

場所：京田辺市上下水道部事務所 2階 大会議室

委員出席者：山田会長（欠）、米田副会長、奥田委員、津熊委員、赤尾委員、曾和委員、小長谷委員、玉井委員、寺本委員、大崎委員

（会長、副会長を除き、京田辺市上下水道事業経営審議会規程第2条に示す第1号委員から第3号委員の順、各号内で順不同）

出席者：上村市長

事務局出席者：上杉公営企業管理者職務代理者、平岡上下水道部副部長、西尾経営管理室担当課長、勝本下水道課長、西村上水道課長、西澤薪淨水場長、瀧山主任

事務局補佐出席者：株式会社日水コン3名

傍聴者：2名

（議事要旨）

1. 開会

事務局より開会を宣言した。

2. 挨拶

京田辺市長 上村 崇 より開会のあいさつを行った。

本日は、大変暑さが厳しい折、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。第7回の京田辺市上下水道事業経営審議会の開催にあたりまして一言ごあいさつ申し上げます。

米田副会長はじめ委員の皆様は2年という任期の間、経営審議会の運営にご尽力いただきましたことを改めてお礼申し上げます。また、本経営審議会の会長を長く務めていただいた山田先生が本年2月7日にお亡くなりになられました。謹んで哀悼の意を表する次第です。

山田先生には大変にお力をいただき、この上下水道事業の将来展望を踏まえたご提言、ご指導をいたしましたところでございます。私どもとしては、先生の想いを含めて、これからも事業をつないで参りたいと思います。

本経営審議会は、令和5年7月11日の諮問から始まりまして、2年間の長期に渡り活発にご議論いただき、本日、委員の皆様から答申をいただく運びとなりました。

振り返れば、この2年間は多くの出来事があったと思います。昨年1月の能登半島地震においては、上下水道における耐震化の必要性を再認識しました。今年に入り、埼玉県八潮市での道路陥没事故、そして、京都市でも水管の漏水事故がございました。上下水道事業を安定的に運営していくかということが問われる事態となっています。来年度以降はPFASの関係も定期検査が義務化されます。そのような中での中間見直しということでございまして、様々な取組みがございますけれども、引き続き京田辺市の水道事業が持続可能な形で取組むものとして改定されたビジョンや経営戦略であると考えております。

今後も本市の将来像であります“未来へうけつぐ故郷の水”を掲げ、市民の皆様に愛される上下水道を目指して参りたいとおもっておりますので、引き続きのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3. 審議会の成立

本日の委員の定足数を確認します。9名の出席であり、経営審議会規程第4条第3項に定めた過半数以上の出席を満たしているため、本審議会は成立していることを報告します。

4. 答申

経営審議会規程第3条第3項により、副会長が会長の職務を代理し、会議を進行。

(1) 審議会の会議の公開・非公開について

原則公開ということで各委員の了承を得た。

(副会長) 審議事項第1号の審議会の会議の公開・非公開について諮りたい。

(副会長) 原則公開でいかがでしょう。

(一同) 異議なし。

(2) 答申

京田辺市上下水道事業経営審議会会长代理である米田副会長から京田辺市公営企業管理者職務代理者である上杉上下水道部長に答申を手渡した。

(副会長) 令和5年(2023年)7月11日付、京経第316号で諮問のありま

した京田辺市水道・下水道ビジョン、水道・下水道事業経営戦略の改定について、本経営審議会は、延べ7回にわたり会議を開催し、慎重に議論を重ねた結果、次のとおり結論を得たので答申するとともに、留意すべき事項について附帯意見として申し添えます。

(3) 第6回経営審議会の議事録について

事務局より第6回経営審議会の議事録と第6回経営審議会の開催結果は、「京田辺市審議会等の会議の公開等に関する指針」第8項の規定に基づき、その要旨を市ホームページで公開していることを合わせて報告した。

(4) 第6回経営審議会後の修正について

事務局より第6回経営審議会で出たご意見に対する修正結果を報告した。

(事務局) 水道事業経営戦略では、37~38ページの投資計画の検討まとめにおいて、事業費の平準化だけでなく、計画期間外への移動も含めて事業費の調整を行った点を記載しています。また、48ページでは、投資・財政計画のまとめとして、料金改定を視野に入れなければならぬ時期が目前に迫っていると強い表現に変えました。

下水道事業経営戦略では、39ページ以降の財政シミュレーションにおいて、水道事業から借り入れる場合のシミュレーションのみを44~50ページに記載することとし、51ページには投資・財政計画のまとめとして考察を追加しました。

答申については、4ページの最後に“ビジョン等のフォローアップについて”を追加し、昨今の社会情勢の急激な変化を勘案して、3~5年という期間にとらわれず、必要に応じて改定することと記載しました。

(5) 本経営審議会の振り返り

各委員より第1回から今回までの経営審議会を振り返り、感想を述べた。

(副会長) テレビで衛星を使って水道管の漏水を調べる仕組みがあるとうのを見た。最新の技術を使って改善していくことができるかもしれないが、そうであっても費用はかかる。様々な物品が値上がりしており、いつまで続くかという不安もある。このような世の中になったのは経済学者の責任とも思うが、お金中心ではない考え方が出てきてほしいと思う。いずれにしてもこのような現状の

中では、上下水道料金を改定することは仕方がないことだと思う。

- (委 員) 毎回の経営審議会資料を見て、優秀な職員がそろっていると感じていた。今後は京田辺市も人口が増えないかもしれない。そのような中で優秀な経営戦略ができたと感じている。突発的な事故が起きたら困るが、今のところはそのようなことは起きないと安心している。
- (委 員) 2年間委員を務めて、事務局の資料作りは大変な苦労をされていると感じていた。水行政は市民の命に関わるものであり、水がない人は生きていくことができない。この点を踏まえて、水行政にもっと予算を回してもらいたいと市長にもお願いしたい。2年間上下水道のことを勉強させてもらって、人生のためになった。
- (委 員) 2年前の私は、上下水道事業に対して料金を払うだけの存在であったが、様々な知らないことを勉強することができた。最初はわからないことも多かったが、持ってきてもらう経営審議会資料も少しづつ内容がわかるようになってきた。
- (委 員) 同じく料金を支払う立場、のどが乾いたら飲む立場、上下水道のことをわからない立場だったが、理解できた時の楽しさ、疑問を知らなければそのままとなってしまうので、気になるところは知りたいという好奇心で勉強した。市民としてよい勉強となった。
- (委 員) 京田辺市の出身であったため、子どものころトイレは汲み取りだったこと、京都市内の中学校に通っていたが、京都市では水道水が臭くて飲めないというが京田辺市ではそのようなを感じたこともなかつたという経験をふと思い出し、私は恵まれた環境で育ったのだと感じた。
- (委 員) 水の大切さ、水源を守ることの大切さを改めて感じた。今まで守っててくれた上下水道部の皆様の努力に感謝したい。これから人口が減るので、行政の対応も困難になることが予想される。業務の自動化も大事になるだろう。
- (委 員) 耐震化や老朽化対策の加速は全国的な課題となっている。管路の更新・耐震化には費用がかかる。答申の附帯意見のとおり、投資・財政計画の見直しは適宜行ってもらいたい。また、すべての費用を上下水道料金のみでまかなうのも難しいと感じている。税金の投入も必要であろう。府と市町村がスクラムを組んで国に財政支援制度の要望をしていきたい。京田辺市の上下水道事業は歴史が浅いため、老朽化が進んでいないが、今後はそのような時期が訪れる。京田辺

市上下水道事業には、適正な料金水準に対する市民の理解促進に努めてもらいたい。

(副会長) 後期高齢者制度では、保険料負担：公費負担：患者負担が5：4：1となっている。上下水道料金だけで100%まかなえないのではないか。

(委員) この2年間で上下水道料金を改定できる機運ができ、社会問題として上下水道事業の問題をとらえ、上下水道事業に対する社会の見る目が変わってきたと感じている。しかし、上下水道事業が提供しているクオリティに対する国民の認識はまだ薄く、料金に転嫁できていないと感じる。上下水道事業に社会の目が向くということは、技術革新のモチベーションとなるかもしれないが、一方でPFASなどが詳細に測れるようになることで、実は我々の生活が発生原因となっていたということがわかるかもしれない。我々自身の生活を見直すことで、上下水道事業への負担を軽減し、安定した経営ができるようにしていくことも大事だと感じた。

5. 公営企業管理者職務代理者挨拶

閉会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日は答申と貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

本日の答申に基づきまして、上下水道事業の経営について継続的にご審議いただきたいと考えています。次回の経営審議会日程等については、委員の委嘱を含めて追って事務局から連絡させていただきますが、今年度中に1回ないし、2回程度開催したいと考えております。

委員の皆様には大変ご苦労をおかけしますが、今後もご意見賜わりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

6. 閉会

公営企業管理者職務代理者の閉会の挨拶の後、第7回経営審議会を閉会した。

以上